観てから読むか 読んでから観るか 原作本

映画評論家・垣井道弘

太陽がいっぱい

1960年公開

若き日の**アラン・ドロン**は男でも見ほれてしまうほどの美男子だった。パトリシア・ハイスミスの小説を「禁じられた遊び」の**ルネ・クレマン**監督が映画化し大ヒット。ラストの《どんでん返し》は犯罪映画史上屈指の名場面になった。本作で映画デビューした**マリー・ラフォレ**が初々しい。

アメリカの貧乏な青年トム（ドロン）は大富豪に頼まれてイタリアのナポリにやってくる。彼は多額の報酬と引き換えに富豪の放蕩（ほうとう）息子であるフィリップ（**モーリス・ロネ**）をアメリカに連れ戻す約束をしていた。

だがフィリップは帰国するつもりがなく、恋人マルジュ（ラフォレ）とヨット遊びの毎日を送っている。貧しさを軽蔑されたトムはヨットの上でフィリップを刺殺。パスポートを偽造して大金を手に入れるのだが…。

原作の主人公トム・リプリーは、数学の才能を持つケチで貧しい詐欺師で警察の目を気にしながら生きている。イタリアで会う富豪の放蕩息子の名前はディッキー。彼をヨットではなく小型モーターボートに乗ってオールで撲殺する。

映画よりもリアルなストーリー展開と、映画とは違う結末をじっくり楽しめる。

太陽がいっぱい
パトリシア・ハイスミス
The Talented Mr. Ripley

パトリシア・ハイスミス著、佐宗鈴夫訳「太陽がいっぱい」（河出文庫）、902円＋税

火垂るの墓

1988年公開

作家の野坂昭如は歌手やタレント、政治家などでマルチに活躍した。彼の直木賞受賞作をスタジオジブリの高畑勲監督がアニメ化。終戦前後に必死で生きた幼い兄妹の物語が哀れで痛ましく涙が止まらない。ホタルの乱舞が命の輝きや死者の霊に見える幻想的な映像が素晴らしく、高畑監督の代表作になった。

太平洋戦争末期の1945年6月5日。神戸大空襲に直撃された14歳の清太は、4歳でまだ幼い妹の節子を背負って逃げるが、母親も家も失ってしまう。軍人の父親は消息不明だった。困った清太は節子を連れて西宮の遠い親戚に身を寄せるが邪魔者扱いされる。

親戚の家を飛び出した兄妹は防空壕（ごう）用に作られた横穴で自炊しながら暮らし始める。だが節子は栄養失調になり、目に見えて衰弱する。清太は食料を求めて空襲下の街を走り回るのだが…。

関西弁と粘り強い独特の文体で話題になった原作は、文庫本で36㌻の短編小説。戦争で幼い妹を亡くした作者の実体験を基にしたレクイエム（鎮魂曲）なのだとされている。

主人公の清太のように妹をかわいがってやればよかった、という作者の強い思いが行間から伝わってくる。

野坂昭如著「アメリカひじき・火垂るの墓／改版」（新潮文庫）、520円＋税

レインメーカー

RAIN MAKER

真山仁 Mayama Jin

～233～

第七章 (27)

「ぼっちゃん、一つだけ秘策があります」

絵・小沢信一

「あと二十年以上県議をやるつもりだったってことか」

「そうなりますな。しかし、喬太（きょうた）ちゃんが亡くなって、めっきり老け込んでしまいました。これはここだけの話にして戴（いただ）きたいのですが、次の県議選にはお出にならないかもしれませんな」

権力の亡者の父が、そんなことを口にしたのか。

「私も信じられませんよ。しかし、このところのご様子を拝見していると、まんざらウソではない気も致します」

「そんな心境なのに、衆院選候補者の公認獲得には躍起になっているのか」

若林が、渋面を作ってこちらを向いた。

「長年のしがらみですな。先生が推している県議のお父上は、大臣経験もある方です。若い頃、先生はその方に大変お世話になった。最後のご恩返し、そうおっしゃっています」

パワーゲームというのは、色々面倒なのだ。

「もし、先生に和解をどうしてもご納得戴きたいのであれば、ぼっちゃん、一つだけ秘策があります」

あと数分で、父の事務所に到着する。このタイミングで何だ！

「聞かせてもらおうかな、その秘策」

「ぼっちゃんが、先生の後を襲うことです」

「僕に県議になれと？」

吹き出してしまった。

死んでも父のような生き方はしたくなかった。自分は今、ビッグチャンスを掴（つか）んで、世界に羽ばたこうとしているのだ。

「県議になるには、選挙で勝たなければなりませんが、ぼっちゃんなら、当選間違いないでしょう」

「親父（おやじ）殿の地盤を受け継ぐんだからな」

「それ以上に、あなたは青年実業家として、成果を上げてこられた。既に、県内では有名人です。若い世代の票を一身に集めることもできるでしょうな」

御免被りたい。

「そんな顔をしなさんな。私は大真面目です。今の県政をご覧なさい。本当に地元のために頑張ろうと思っている県議なんて皆無です。皆、我欲だけを追い求めている。あるいは、国会議員への足がかりを作るための踏み台にする。そんな輩（やから）ばかりでは、ここはダメになります」

若林にしては、珍しく批判的な話をする。

まやま・じん　1962年大阪府生まれ。同志社大学法学部卒業。2004年、『ハゲタカ』でデビュー。『ハゲタカ』シリーズはドラマ、映画化され大きな話題に。他の著書に『ベイジン』『コラプティオ』『黙示』『売国』『雨に泣いてる』『当確師』『バラ色の未来』『オペレーションZ』『アディオス！ジャパン　日本はなぜ凋落したのか』など多数。

『明日のための近代史』　伊勢弘志著

全く新しい記述スタイル

明日のための近代史
世界史と日本史が織りなす史実
伊勢弘志
1840年代～1920年代の近代の歴史をグローバルな視点で書き下ろした全く新しい記述スタイルの通史

2022年に高校の歴史教育が大きく変わることになっている。「歴史総合」という、これまでの日本史と世界史を融合した新科目ができるのだ。

これまで学校では日本史と世界史を別々に教えていたが、グローバリズムがどんどん進む時代の流れに合わせて、2つの教科を融合する試みへの期待は大きい。

本書は、1840年代から1920年代までの近代の歴史を日本史と世界史の枠を越えたグローバルな視点とユニークな構成、全く新しい記述スタイルでまとめた本である。

いま、歴史の通史・概説書を読み返す大人が増えており、関連出版物も目立つようになっている。そうした大人の教科書だ。

静かなブームが起きているのだろう。

コロナ禍に際しても言われたことだが、現代の問題を理解する鍵は過去の歴史を正しく学ぶことにあるのだ。

芙蓉書房出版・2200円＋税

『マンガ＆あらすじでつかむ！１時間でわかる　カミュの「ペスト」』　大竹稽著

あきらめた人はぜひ

大竹稽
カミュの『ペスト』
マンガ＆あらすじでつかむ！

新型コロナウイルスの世界的大流行を受けて、70年以上前に刊行された1冊の本が世界中で売れている。フランスのノーベル文学賞作家、アルベール・カミュの長編小説、『ペスト』だ。

突如、感染症ペストに襲われた街の人々が翻弄されながら戦った日々を、主人公の医師の記録としてつづっており、いまや「ウイズ・コロナ」時代の教養ともいえる。社会人として押さえておくべきであろう。

ところが、450㌻を超える超大作であり、なかなかの難解作でもあり、途中で読み終えることをあきらめた人が続出している。

本書はその難解な『ペスト』の押さえておくべき代表的なシーンを、マンガ＆あらすじで紹介。ラクに60分で理解できる。

感染症との闘いがひとごとではない現在、不条理な状況下、何を考え、どう行動すべきかがわかる1冊。1度は目を通しておくべきだろう。

あさ出版・1200円＋税

『翻訳の授業　東京大学最終講義』　山本史郎著

翻訳とは何だろう？

翻訳の授業
東京大学最終講義
山本史郎
めくるめく
上質。
40年の翻訳研究、
魂の集大成。

ノーベル文学賞受賞の川端康成の代表作『雪国』の冒頭。「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった。」をどう訳すか？

本書では、それが誤訳されていた可能性を指摘し、40年翻訳研究を続けてきた山本氏（東京大学名誉教授）が、「翻訳の本質」に迫っていく。

本書に取り上げられているのは、村上春樹、谷崎潤一郎から、サリンジャー、ディケンズ、芥川龍之介らの作品と幅広い。

「テキストを文法的に正しく解釈し、辞書のことばで置き換えること」が翻訳だと思っている人の常識を覆し、「英語（外国語）とは何だろう？翻訳とは何だろう？」という疑問を、どこまでも深く深く掘り下げている。著者いわく、「のろまな私が30年もかかって知り得たことを、皆さんに知っていただき、そこを踏み台、跳躍台にしてほしい」。

いざ、知的冒険の旅へ！

朝日新聞出版・890円＋税

ビジネス川柳

ウイルスか　猛暑か　マスクどうするか
マスクは暑い。小さなマスクが欲しい…あ、アレか
（東京都・はる）

家族分　妻が管理の　給付金
月給もボーナスもそうなんだから、なにを今さら
（吹田市・茶っ木）

投稿のお願い ★はがきで★100―8160夕刊フジ報道部「ビジネス川柳」係★住所、氏名（雅号）、職業、年齢、電話番号を明記★掲載作品には薄謝★月～金曜掲載。どしどしご応募ください。

不在文字情報（0）
不在画像情報（0）
あふれ記事情報（0）
最適化未処理情報（0）
モノクロ不在画像情報（0）